

西宮市役所E C Oプラン-第三次西宮市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） -
令和元年度（2019年度）実績報告書

1. 計画について

本市では、平成 26 年度(2014 年度)より西宮市役所E C Oプラン-第三次西宮市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）-を推進しています。

計画期間を平成 26 年度(2014 年度)から令和 2 年度(2020 年度)までの 7 年間とし、本市の事務・事業（指定管理者制度の対象施設における活動を含む）から排出される温室効果ガス^{*1}（目標設定対象排出量^{*2}）を令和 2 年度(2020 年度)までの 7 ヶ年で平成 25 年度(2013 年度)（基準年度）より 7%削減することを目標としています。

※ 計画の進捗状況管理にあたり、温室効果ガス排出量算出の際、電力排出係数（1 kWh の電気を生産するにあたり発生する二酸化炭素量）の増減に左右されない評価を行うため、平成 24 年度(2012 年度)の電力排出係数（平成 25 年度(2013 年度)以降の新規参入事業者は使用できる最も古い電力排出係数）を固定して使用しています。

※1 温室効果ガス…本計画では、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）の 4 つが対象。

※2 総排出量と目標設定対象排出量…総排出量は、市役所のすべての事務・事業から発生する温室効果ガスの排出量。これに対し、目標設定対象排出量は総排出量から一般廃棄物焼却、下水処理及び麻酔（笑気ガス）の使用による排出量を除外したものの。

2. 令和元年度(2019年度) 目標設定対象排出量の実績

令和元年度(2019年度)の目標設定対象排出量と対基準年度（平成 25 年度(2013 年度)）及び対前年度（平成 30 年度(2018 年度)）との比較については表 1、基準年度以降の目標設定対象排出量及び削減率の推移は図 1 のとおりです。

表 1 令和元年度(2019年度)の目標設定対象排出量の対基準年度及び対前年度の増減量・率

(単位: kg-CO₂)

基準年度 平成25年度 (2013年度)	平成30年度 (2018年度)			令和元年度 (2019年度)				
排出量	排出量	対基準年度		排出量	対基準年度		対前年度	
		増減量	増減率		増減量	増減率	増減量	増減率
54,056,536	51,865,938	△ 2,190,598	△4.05%	52,992,032	△ 1,064,504	△1.97%	1,126,094	2.17%

図 1 目標設定対象排出量及び削減率の推移



3. 目標設定対象排出量の内訳

令和元年度の目標設定対象排出量の活動別の内訳と基準年度（平成 25 年度(2013 年度)）及び対前年度（平成 30 年度(2018 年度)）との比較については、表 2 のとおりです。

前年度(平成 30 年度(2018 年度))と比較して目標設定対象排出量は 2.17%増加しています。夏の空調時間延長による電気・ガスの使用量の増、ごみ処理施設において整備点検に係る休炉期間の長期化で買電が増えたことによる電気使用量の増が主な理由と考えられます。

表 2 目標設定対象排出量の活動別内訳

(単位:kg-CO₂)

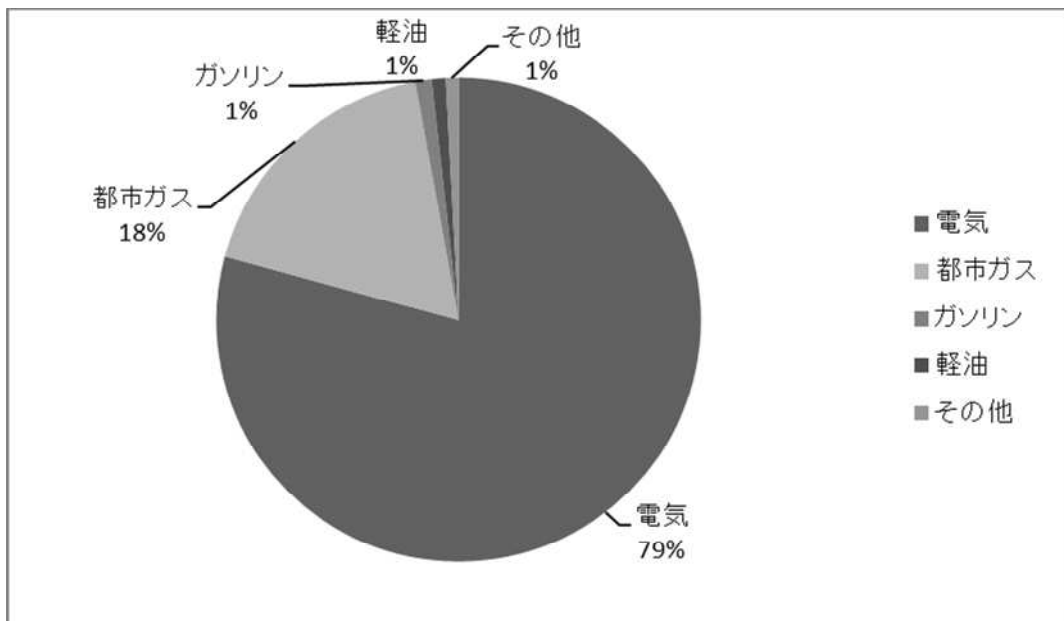
関連する活動	基準年度 平成25年度 (2013年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	増減量 (対基準年度)	増減率 (対基準年度)	増減量 (対前年度)	増減率 (対前年度)
電気	43,409,939	41,212,813	41,979,268	△ 1,430,671	△3.30%	766,455	1.86%
都市ガス	8,689,310	8,823,340	9,488,751	799,441	9.20%	665,411	7.54%
A重油	262,379	342,593	228,919	△ 33,460	△12.75%	△ 113,674	△33.18%
LPG	98,239	97,053	68,619	△ 29,620	△30.15%	△ 28,434	△29.30%
灯油	218,107	109,174	82,865	△ 135,242	△62.01%	△ 26,309	△24.10%
ガソリン	676,351	611,178	579,599	△ 96,752	△14.30%	△ 31,579	△5.17%
軽油	391,913	575,139	495,216	103,303	26.36%	△ 79,923	△13.90%
CNG	279,612	61,033	37,950	△ 241,662	△86.43%	△ 23,083	△37.82%
自動車の使用	30,686	33,615	30,845	159	0.52%	△ 2,770	△8.24%
目標設定対象排出量	54,056,536	51,865,938	52,992,032	△ 1,064,504	△1.97%	1,126,094	2.17%

4. 目標設定対象排出量の内訳（円グラフ）

令和元年度(2019 年度)の目標設定対象排出量の活動別の割合は、図 2 のとおりです。

電気及び都市ガスの使用による温室効果ガス排出量が全排出量の 97%と大部分を占めています。特に、電気の使用による排出量は 79%を占めており、電気の使用量を減らすことが目標設定対象排出量の削減のための最も重要な要素となっています。

図 2 活動別の目標設定対象排出量の割合



※その他…A重油、LPG、灯油、CNG、自動車の走行

5. <参考> 令和元年度(2019年度) 総排出量の実績

総排出量は、目標設定対象排出量に、一般廃棄物焼却及び下水処理に伴う排出量、麻酔(笑気ガス)使用に伴う排出量を合わせたものです。これらの活動に伴う排出量は、市民や事業者の活動などと直接関係しており、市の事務・事業として目標を設定することは不適切なため、目標設定対象排出量からは除外しているものです。

令和元年度(2019年度)の総排出量の内訳と基準年度(平成25年度(2013年度))及び対前年度(平成30年度(2018年度))との比較については、表3のとおりです。

表3 総排出量の内訳、対基準年度及び対前年度の増減量・率

(単位:kg-CO₂)

	基準年度 平成25年度 (2013年度)	平成30年度 (2018年度)			令和元年度 (2019年度)					
		実績	対基準年度		実績	対基準年度		対前年度		
			増減量	増減率		増減量	増減率	増減量	増減率	
総排出量	120,108,927	121,622,777	1,513,850	1.26%	118,982,415	△1,126,512	△0.94%	△2,640,362	△2.17%	
目標設定排出量	54,056,536	51,865,938	△2,190,598	△4.05%	52,992,032	△1,064,504	△1.97%	1,126,094	2.17%	
一般廃棄物の焼却に伴う排出	62,016,007	65,612,873	3,596,866	5.80%	62,022,287	6,280	0.01%	△3,590,586	△5.47%	
下水処理に伴う排出	4,036,384	4,106,765	70,381	1.74%	3,949,496	△86,888	△2.15%	△157,270	△3.83%	
麻酔(笑気ガス)使用に伴う排出	0	37,200	37,200	-	18,600	18,600	-	△18,600	△50.00%	

6. <参考> 最新の排出係数(平成30年度(2018年度)実績)を用いて算出した目標設定対象排出量

表4 令和元年度(2019年度)の目標設定対象排出量の対基準年度及び対前年度の増減量・率

(単位:kg-CO₂)

基準年度 平成25年度 (2013年度)	平成30年度 (2018年度)			令和元年度 (2019年度)					
	排出量	対基準年度		排出量	対基準年度		対前年度		
		増減量	増減率		増減量	増減率	増減量	増減率	
54,056,536	40,862,093	△13,194,443	△24.41%	41,950,712	△12,105,824	△22.39%	1,088,619	2.66%	